

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

杉田地区は海側の工業地、低地の市街地、丘の上に形成された住宅地に大きく区分されます。3つの鉄道駅を中心に昔ながらの商店街や商業施設が集まり賑わいのあるまちですが、丘の上の住宅地等では移動や買物等に課題を感じている人も多いことから、令和2年10月より買物移動販売を開始しており、販売拠点も拡大中です（計6か所）。また、健民祭等の多世代交流行事、健康づくり活動などが盛んである一方、老人会や子供の会の運営継続等に課題もあります。

第4期磯子区地域福祉保健計画をもとに、子どもから高齢者、外国にルーツを持つ方、障害のある方や病気などにかかわらず、誰もがお互いを気にかけてながら住み慣れた地域で安心して住み続けられる街づくりに取り組みます。また、災害時にいざという時に生きる、自助・共助の力を養う取組を行います。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	人生の最終段階の医療・ケアの話し合い（人生会議）の推進に向けて、地域住民向けの横浜市人生会議のドラマを媒体とした講座開催や「もしも手帳」等の普及啓発を行います。
☐	☒	詐欺被害防止に向けて、磯子区共通で作成した啓発用瓦版等を媒体とし、地域全体で詐欺被害を減らしていく環境づくりを進めていきます。
☒	☐	コロナ禍での子育てについてどのような支援が必要とされているのか等、子育て世代のニーズ把握のための聞き取りや、アンケートを実施します。また、結果をもとに、ケアプラザ自主事業の企画や、区内子育て支援関連の会議等での情報共有、課題提起を行い、区地福計画のテーマである「子ども子育て」支援の推進に取り組んでいきます。
☒	☐	ヨコハマ地域活動情報サービス検索ナビの情報公開を見据えて最新の地域情報を収集するとともに、支援に必要な情報については関係機関と共有を図ります。
☒	☐	地域住民が主体となって第4期磯子区地域福祉保健計画が推進していけるよう、区役所及び区社会福祉協議会と協働しながら地域への働きかけ、支援を行っていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

【ACP（人生の最終段階の医療・ケアを考える）の普及啓発】
広く地域に出向き、横浜市人生会議短編ドラマの上映を行った。その際「もしも手帳」をお渡しし、「もしも手帳」の説明を行うことで、ACPの普及啓発（出張講座を年間11回、延べ158人）を行いました。

【詐欺被害防止に向けた取組】
地域に出向く際、区が作成した消費者被害瓦版をお渡しし、啓発に努めるとともに、磯子区防犯協会から提供される「地域安全ニュース」を連絡通路に掲示し、必要箇所にはFAXにて情報提供を行いました。

【子ども子育て支援の推進】
保護者からの要望を受け、0歳児対象の「新米パパ応援講座」を企画・開催した。また、地区子育て支援連絡会にて、区やいそぴヨ等と協働し、各関係機関が利用者の様子や、抱えている課題などの情報共有をする場を設定しました。

【ヨコハマ地域活動情報サービス検索ナビの情報公開】
現在の活動状況の把握とAyamuの情報更新だけでなく、活動者の方と情報公開の同意書のやり取りができたことで顔の見える関係づくりもおこなえました。

【第4期磯子区地域福祉保健計画の推進】
地区別計画の推進では防災をテーマに推進委員会、ワークショップを開催し、地域の防災についての課題検討をおこなうとともに成果物として地区独自の防災リーフレットの作成に取り組みました。

☐ 区からのコメント

・地域の身近な拠点として顔の見える関係を構築し、地域の情報を把握いただくとともに、聞き取りやアンケートなども実施することで、それぞれのニーズを汲み取った事業を行っていただけたと思います。また、活動の広がりにつながる仕掛けや情報共有の改善など、コロナ禍においても新たな取組を積極的に進めていただきました。引き続き、丁寧なニーズ把握を基礎とした地域支援が推進されることを期待しています。

・各職種が効果的に連携し、専門性を発揮することで、地域課題の抽出や地域の強みを活かした活動、シームレスな支援など、安心して暮らせる地域づくりにご尽力いただけたと思います。今後も、多職種が効果的に連携し、地域のあるべき姿の実現に向けた協働を推進していただければと思います。

令和4年度新杉田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	・利用者の意思及び人格を尊重し、公正中立な立場から、利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスが適切に利用できるよう支援を行います。 ・事業所の選択に係る相談にあたっては、事業所の一覧を提示する等、複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設けます。	・安全衛生委員会を中心に毎月重点目標を設定し、各職場で取り組みます。 ・ヒヤリハット発生時には、朝礼や昼礼、終業時に日常的に報告しあい、情報共有を行うことで、事故ゼロを目指します。 ・デイサービス送迎時の車両事故に関しても、年間の車両安全カレンダーを作成、職員控室に掲示し毎日チェックすることで、無事故継続への意識向上に努めます。 ・ご利用者の体調急変に対応できるよう、磯子消防署のご協力をいただき、職員を対象とした、AED及び心肺蘇生法の研修会を開催します。 ・運営法人の定める「個人情報保護規程」に基づき、個人情報の保護管理にあたり、個人情報流出事故は0件を目指します。 ・半期で契約を更新する非常勤職員に対して、雇用契約書の書面上に個人情報保護に関する誓約書を併記し、定期的な意識啓発を行います。また、職員を対象とし内部研修を行うほか、個人情報保護についての最近の傾向や事例を報告します。
実績	・部門別利用者アンケート等を実施し、その業務の公正・中立性を振り返りました。 ・常に相談者(ご利用者様)の立場に立ち、相談者(ご利用者様)の意志及び人格を尊重し、提供されるサービス等が特定の事業者に不当に偏ることがないように公正中立を意識した支援を行いました。	・安全衛生委員会を中心に毎月重点目標を設定し、各職場で取り組みました。 ・ヒヤリハット発生時には、朝礼や昼礼、終業時に報告しあい、情報共有を行うことで事故ゼロを目指してきましたが、介護事故が2件発生しました。 ・デイサービス送迎時の車両事故に関しても、年間の車両安全カレンダーを作成し、毎日チェックすることで、無事故継続への意識向上に努めてまいりましたが、2件の車両事故を起こしてしまいました。どの事故も車両の擦り傷程度の破損で利用者への影響等はありませんでした。 ・半期で契約を更新する非常勤職員に対し、雇用契約所の書面上に個人情報保護に関する誓約書を併記し、定期的な意識啓発を行いました。また、全職員を対象に個人情報漏えい防止チェックシートを活用し、啓発を行いました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	・利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標に取り組んでいけるような計画を作成し、実行できている。 ・地域特性を生かしたサービスBやインフォーマルサービス等をプランに活用し、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチする支援ができている。	・ご利用者本人が望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療及び多職種を交えたケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する取り組みを行っています。 ・入退院時における医療機関等との連携促進により、ご利用者が地域において尊厳あるその人らしい生活を送れるよう、医療と介護の切れ目ない支援に向けたケアマネジメントの質の向上を図りながら、よりよい支援を展開していきます。 ・利用者像や課題に応じた適切なアセスメントを実施していきます。 ・特定事業所加算算定事業所として質の高いケアマネジメント実施と安定経営を目指して、定期的な会議の継続と計画に基づいた研修受講を進めていきます。また研修はオンラインによる研修の受講も行っています。 ・他法人との合同研修を企画し、ケアマネジャーとしてのスキルアップを目指します。

利用 料金 ・ 実費 負担		
職員 体制	保健師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士2名、予防プランナー2名	管理者 1名 ケアマネジャー5名（常勤兼務1名、常勤専従2名、非常勤兼務2名）
契約 者数	228名	138名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目 標	・ ご利用者の意思を尊重し、自立した日常生活とそのご家族の負担軽減を目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じた通所介護サービス提供に努めます。 ・ 通所介護のサービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等と綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止に資するように十分に配慮します。 ・ ご利用者の状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心掛けます。		
実施 体制	【実施日数】 305日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

利用料金・実費負担	1割負担金 (要支援1) 1,793円/月 (要支援2) 3,675円/月 (要介護1) 703円/日 (要介護2) 829円/日 (要介護3) 961円/日 (要介護4) 1,092円/日 (要介護5) 1,225円/日 【加算】 ・個別機能訓練加算(Ⅰ)イ (要介護1～5)60円/日 ・サービス提供体制強化加算Ⅰ (要支援1) 94円/月 (要支援2) 188円/月 (要介護1～5)24円/日 ・運動器機能向上加算 242円/月 ・入浴介助加算 43円/日 ・介護職員処遇改善加算Ⅱ 所定単位×43/1000(月につき) ・介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ 所定単位×12/1000(月につき) 【実費負担】 ・食費 700円 ※おやつ代50円/日を含む		
職員体制	管理者 1 人 生活相談員 2人 看護職員 4人 機能訓練指導員 5人 介護職員 16人 送迎車ドライバー 7人		
契約者数等	【延べ利用者数】7,285名 【契約者数】87名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「新杉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	32,883,698	34,228,874	67,112,572		67,112,572	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	4,537,500		4,537,500		4,537,500	
収入合計	37,421,198	34,228,874	71,650,072	0	71,650,072	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,644,957	10,593,271	21,238,228	0	21,238,228	
本俸	7,091,870	7,231,548	14,323,418		14,323,418	
社会保険料	735,271	767,770	1,503,041		1,503,041	
手当計	2,209,298	2,298,448	4,507,746		4,507,746	
健康診断費	24,046	22,588	46,634		46,634	
勤労者福祉共済掛金	6,750	6,750	13,500		13,500	
退職給付引当金繰入額	87,450	90,630	178,080		178,080	
その他	490,272	175,537	665,809		665,809	
事務費	1,491,822	1,583,158	3,074,980	0	3,074,980	
旅費	9,620	25,132	34,752		34,752	
消耗品費	349,440	722,266	1,071,706		1,071,706	
会議随い費	0	4,482	4,482		4,482	
印刷製本費	30,286	62,117	92,403		92,403	
通信費	45,094	96,282	141,376		141,376	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	196,940	43,780	240,720		240,720	
図書購入費	0	0	0		0	
施設賠償責任保険	61,027	61,979	123,006		123,006	
職員等研修費	0	7,258	7,258		7,258	
振込手数料	1,367	1,444	2,811		2,811	
リース料	128,724	12,000	140,724		140,724	
手数料	6,743	67,750	74,493		74,493	
地域協力費	6,475	0	6,475		6,475	
その他	656,106	478,668	1,134,774		1,134,774	
事業費	535,700	478,689	1,014,389	0	1,014,389	
運営協議会経費	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	535,700	478,689	1,014,389		1,014,389	
その他			0		0	
管理費	7,318,700	8,926,976	16,245,676	0	16,245,676	
光熱水費	1,299,600	5,756,527	7,056,127		7,056,127	
清掃費	595,881	575,169	1,171,050		1,171,050	
機械整備費	124,272	124,272	248,544		248,544	
設備保全費	2,323,203	2,068,322	4,391,525	0	4,391,525	
空調衛生設備保守	1,056,773	941,577	1,998,350		1,998,350	
消防設備保守	214,347	170,997	385,344		385,344	
電気設備保守	307,436	238,174	545,610		545,610	
害虫駆除清掃保守	104,359	104,359	208,718		208,718	
駐車場設備保全費	0	0	0		0	
その他保全費	640,288	613,215	1,253,503		1,253,503	
共益費	0	0	0		0	
その他	2,975,744	402,686	3,378,430		3,378,430	
修繕費	474,000	474,000	948,000		948,000	予算:指定額
公租公課	950,000	0	950,000	0	950,000	
事業所税			0		0	
消費税	950,000		950,000		950,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	16,006,019	16,890,010	32,896,029		32,896,029	加算:連絡通路管理費
支出合計	37,421,198	38,946,104	76,367,302	0	76,367,302	
差引	0	△ 4,717,230	△ 4,717,230	0	△ 4,717,230	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	535,700	478,689	1,014,389	0	1,014,389	
自主事業 収支	△ 535,700	△ 478,689	△ 1,014,389	0	△ 1,014,389	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和4年度「新杉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,368,667		30,368,667	30,368,667	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,035,000		2,035,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	38,359,667	0	38,359,667	36,324,667	2,035,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,883,698	0	32,883,698	34,661,868	△ 1,778,170	
本俸	17,961,690		17,961,690	18,275,310	△ 313,620	
社会保険料	4,038,027		4,038,027	4,595,520	△ 557,493	
手当計	10,002,091		10,002,091	10,539,106	△ 537,015	
健康診断費	28,344		28,344	24,963	3,381	
勤労者福祉共済掛金	32,250		32,250	32,250	0	
退職給付引当金繰入額	389,550		389,550	402,270	△ 12,720	
その他	431,746		431,746	792,449	△ 360,703	
事務費	942,700	0	942,700	1,115,894	△ 173,194	
旅費	39,430		39,430	95,052	△ 55,622	
消耗品費	125,885		125,885	153,059	△ 27,174	
会議随い費	931		931	0	931	
印刷製本費	20,011		20,011	13,950	6,061	
通信費	246,997		246,997	421,289	△ 174,292	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	39,350		39,350	95,480	△ 56,130	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	16,222		16,222	16,475	△ 253	
職員等研修費	28,100		28,100	14,882	13,218	
振込手数料	1,635		1,635	1,151	484	
リース料	32,934		32,934	0	32,934	
手数料	2,212		2,212	0	2,212	
地域協力費			0	0	0	
その他	388,993		388,993	304,556	84,437	
事業費	1,200,500	0	1,200,500	465,578	734,922	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	68,500		68,500	50,277	18,223	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	348,000		348,000	51,301	296,699	
その他			0		0	
管理費	1,874,000	0	1,874,000	2,372,971	△ 498,971	
光熱水費	345,428		345,428	1,530,216	△ 1,184,788	
清掃費	158,395		158,395	152,889	5,506	
機械整備費	33,034		33,034	33,034	0	
設備保全費	617,546	0	617,546	614,526	3,020	
空調衛生設備保守	280,908		280,908	298,868	△ 17,960	
消防設備保守	56,977		56,977	45,454	11,523	
電気設備保守	81,720		81,720	78,908	2,812	
害虫駆除清掃保守	27,740		27,740	27,740	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	170,201		170,201	163,556	6,645	
共益費	0		0	0	0	
その他	719,597		719,597	42,306	677,291	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	37,026,898	0	37,026,898	38,742,311	△ 1,715,413	
差引	1,332,769	0	1,332,769	△ 2,417,644	3,750,413	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	570,500	0	570,500	255,578	314,922	
自主事業 収支	△ 570,500	0	△ 570,500	△ 255,578	△ 314,922	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：新杉田地域ケアプラザ

4年4月1日～ 5年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,619	6,607		7,274	7,919	-645	25,771	27,776	-2,005	50,554	50,437	117	12,903	11,507	1,396
	その他	0	67	-67	0	67	-67	723	1,174	-451	5,176	5,478	-302	1,187	1,250	-63
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	認定調査受託収入			0			0	68	104	-36			0			0
	予防ケアプラン受託収入			0			0	655	1,009	-354			0			0
	利用料収入			0			0			0	4,154	4,147	7	953	946	7
	補助金		30	-30		30	-30	61	-61		489	868	-379	112	198	-86
	その他		37	-37		37	-37			0	533	463	70	122	106	16
	収入合計(A)	6,619	6,674	-55	7,274	7,986	-712	26,494	28,950	-2,456	55,730	55,915	-185	14,090	12,757	1,333
支出	人件費	1,502	1,445	57	1,651	1,728	-77	20,652	21,189	-537	41,941	43,166	-1,225	9,615	9,848	-233
	事務費	137	143	-6	149	171	-22	1,438	1,607	-169	2,226	1,929	297	511	440	71
	事業費			0			0	391	374	17	6,073	6,025	48	1,392	1,374	18
	管理費	794	759	35	873	908	-35	3,228	2,671	557	10,260	10,771	-511	2,352	2,457	-105
	その他	3,159	2,935	224	3,473	3,516	-43	0	0	0	848	678	170	195	154	41
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3,159	2,935	224	3,473	3,516	-43			0			0			0
	ファイナンスリース			0			0			0	284	284	0	65	65	0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	564	394	170	130	89	41
	支出合計(B)	5,592	5,282	310	6,146	6,323	-177	25,709	25,841	-132	61,348	62,569	-1,221	14,065	14,273	-208
収支 (A) - (B)		1,027	1,392	-365	1,128	1,663	-535	785	3,109	-2,324	-5,618	-6,654	1,036	25	-1,516	1,541

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ベビイとママのすくすくひろば	平成13年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 地域の乳幼児の母親を対象とした「子育て支援」を目的とした事業。	3：養育者及び乳幼児		5か月児～1歳児未満とその母親を対象とし、3B体操や育児相談等を行い、親の交流、情報共有・交換の場となるように導く。各コース25組定員。 (前期：5月～9月/後期：10月～2月) 月2回、第2・4火曜日 全10回×2コース	20	268
2	のんびりママの会	平成14年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 地域の1歳児の母親を対象とした「子育て支援」を目的とした事業。	3：養育者及び乳幼児		リトミックで、リズム、音楽を体で体験し、想像力や表現力を養い、心と体の調和を目指す。 各コース20組定員(前期5月～9月/後期・10月～2月) 月1回、第2金曜日 全5回×2コース	10	150
3	ミニデイ「サロンまどか」	平成9年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止、介護者・独居者支援 地域の高齢者を対象としたミニデイサービス。	1：高齢者		健康体操・手芸教室やレクリエーションの他にも、健康相談や消費者生活センター等の各種団体による情報提供等を実施する。また、地域の保育園の園児との交流なども行う。	11	57
4	花といっしょに	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止 高齢者の引きこもり予防等を目的とした事業。	1：高齢者		地域の65歳以上の高齢者(特に2次予防事業対象者を優先)を対象に、フラワーアレンジメントと介護予防講座、茶話会を中心としたプログラム。 通年 全10回(4・8月は休み)月1回、第	14	151
5	のびのび体操倶楽部	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止 地域の高齢者の転倒予防・引きこもりの予防を目的とし、平成15年度転倒骨折予防事業参加者を中心として開催。	1：高齢者		エアロビクスの要素を取り入れた健康体操を中心としたプログラムを実施。 通年 全24回 月2回、第2・4木曜日	21	237
6	転ばん体操倶楽部	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止 地域の高齢者の転倒予防・引きこもりの予防を目的とし平成16年度転倒骨折予防事業参加者を中心として開催。	1：高齢者		ハマトレや、参加者の方が持参したタオル等の道具等を使用したストレッチ等を中心としたプログラムを実施。 4月～3月 全24回 月2回、第1・3金曜日	21	229
7	みずたま体操倶楽部	平成17年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止 地域の高齢者の転倒予防・引きこもりの予防を目的とし、平成18年度地域支援事業(転倒骨折予防教室)参加者を中心として開催。	1：高齢者		特に二次予防事業対象者を中心に声掛けを行っている健康体操中心としたプログラム。 通年 全51回 毎週、月曜日午後	18	167
8	杉田のあゆみと歴史散策2022	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	多世代交流の機会づくりと、地域の活動者育成。男性の地域デビューと引きこもり防止。 住んでいる地域を掘り下げて学び、歴史と産業、文化等の情報共有と仲間づく	5：地域		地域の歴史を学び、実際にその場所を歩き、寺社・名所などを訪れる。講師・引率役に地域に住んでいる団塊の世代の方々を抜擢して開催する。 通年 全12回 月1回、第4土曜日(2月、8月は第3土曜日)	12	133
9	ボランティア体験講座	平成20年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域支援 地域福祉の充実とボランティアの育成を目指す。	5：地域		ボランティアのあり方を学び、障害者の施設での体験、高齢者施設での体験ができるようなプログラムを実施。 通年 希望者に応じて開催。	0	0
10	手話サークル「海」	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	聴覚障害者の交流、仲間づくり、情報交換、手話の習得。仲間づくり、情報交換、手話の習得。 聴覚障害者に対して福祉に関する情報を提供することを中心とした支援。	2：障害児・者		当ケアプラザを活動拠点にする磯子区聴覚障害者協会が中心となって活動する手話サークルと連携し、情報提供等を行う。高齢の聴覚障害者に対する介護保険制度の説明や医療相談、各種福祉団体等からの情報提供も実施する。	46	767
11	COSMOS	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害児・者余暇支援 「フットサル」を通じて障害児・者の余暇支援としての居場所づくりや、団体行動、コミュニケーション能力、礼儀作法などを学んでいく。	2：障害児・者		磯子区スポーツセンター・屏風ヶ浦地域ケアプラザと共催。 月1回 日曜日 午前(4月、8月は休み) 年度末には、大会に出場する。	11	133
12	にじのゲームクラブ	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害児余暇支援 障害児と保護者の居場所づくり、情報共有・情報交換をする。	2：障害児・者		プロジェクターで映し出されたゲームなど、みんなで対戦する。 月1回 第3日曜日 午後	11	105
13	新杉田スクエアステップ教室2022	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防支援、および自主的な地域活動の促進・支援を図る。	1：高齢者		スクエアステップを利用した運動を行い、認知症予防や下肢筋力の維持を図る。 また、自主サークル化に向けたリーダー育成、活動の助言・支援を行う。	11	136
14	サロン「新杉田」	平成29年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	障害・高齢者支援 引きこもりがちな聴覚障害高齢者の居場所づくり。	2：障害児・者		体操や、レクリエーションタイムを設けおしゃべり、お茶を飲む。 第1・3土曜日 午後	21	349
15	ボランティア交流会	令和元年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ボランティア同志の情報交換と活動の継続支援を目的とする。	5：地域		ケアプラザに登録をしているボランティアに集まっていただき、日頃の活動に感謝の気持ちを伝え、ボラからは活動の報告等してもらう。弦楽器のコンサートを鑑賞。 令和4年度は、令和3年度に引き続き開催する。	0	0
16	昭和の歌と共に♪2022	令和元年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	高齢者の居場所づくり 歌と回想法を利用した認知症予防	1：高齢者		平成30年度にて終了した「歌声ひろば」に代わり、歌の自主事業の再開の要望から実施。講師を招き、当時の音源を利用した昭和歌謡と時代背景についての解説を取り入れた講座。 5月～月1回第3水曜日実施(8月は休み)	7	154
17	福祉教育	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	学生の福祉体験	5：地域		社協との共催で「サマーボランティア」の受け入れ。中学生の福祉体操施設での交流・傾聴体験・レクリエーションのお手伝い等。アイマスク・車いす体験。 随時	0	0

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組み	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）				4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	シエロアスール春の音楽会	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	視覚障害者の余暇支援と交流	2：障害児・者		視覚障がい者・ボランティア南米音楽の演奏会。一般の方にも広くアピールする。 年1回 午後	0	0
19	夏休み企画小学生対象「フラワーアレンジメント」	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域・子育て支援 夏休みの小学生の余暇支援。 異なった学校や、学年を混ぜたグループ割で、協調性、自主性を養う。	4：子ども・青少年		フラワーアレンジメントの講師を招いて、夏休みの作品作り。 年1回 午前	1	19
20	夏休み企画小学生対象「はじめての親子プログラミング講座」	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域・子育て支援 夏休みの小学生の余暇支援。 異なった学校や、学年を混ぜたグループ割で、協調性、自主性を養う。 また、親が学校でのプログラミング学習の内容等について知る機会を持つ。	4：子ども・青少年	3	プログラミング教室。 自分の体を使ったプログラミング体験や、実際にパソコンでプログラムを作る体験などを親子で楽しむ。 年2回 午前・午後	1	15
21	「パパと一緒にリトミック」	平成27年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 パパ同士の交流・情報共有の機会を持つ。 また、子どもとの遊び方や体の動かし方のヒントを得る。	3：養育者及び乳幼児		1～2歳児を子育て中の男性保護者向けに、子供との遊び方やし方を音楽に合わせて学ぶ。 年3回(6月、9月、3月) 日曜日 午前	3	44
22	新米パパ応援講座	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 パパ同士の交流・情報共有の機会を持つ。 パパとママと一緒に参加できる事業の開催。	3：養育者及び乳幼児		0歳児を子育て中の男性保護者向け。 こども青少年局の「地域における父親育児支援講座開催支援事業」を活用予定。 年1～2回	1	18
23	ひよこカフェ	平成30年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 高齢世代と子育て世代との多世代交流 ベビイ体操の終了後に子供を連れてのんびりできる場所が欲しいとの声から立ち上がった居場所づくり。	3：養育者及び乳幼児		子育てサロン ママ同士がおしゃべりをしたり、持参したお昼ご飯などを食べたりする居場所の提供。また、ボランティアスタッフによる保育・栄養のミニ相談等。 4月～年11回(8月は休み)第2火曜日11:30 終活講座。主に木曜日の午後の時間帯で企画。 10月～11月 全3コース。 ①相続・遺言について一般的な講義と質疑応答。②葬儀のあれこれ③介護保険の基礎知識の内容で開催予定。 5月～7月 全4回6講座。社会参加・認知症予防・ロコモティブシンドローム予防・口腔機能向上・栄養改善の講座。プラス自主目標の設定及びその評価をし、その後の活動計画を立てる。	11	111
24	実り豊かな老後のために	平成19年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	終活事業 終活に向けて、知っておく役に立つ情報の提供。	5：地域		10月～11月 全3コース。 ①相続・遺言について一般的な講義と質疑応答。②葬儀のあれこれ③介護保険の基礎知識の内容で開催予定。 5月～7月 全4回6講座。社会参加・認知症予防・ロコモティブシンドローム予防・口腔機能向上・栄養改善の講座。プラス自主目標の設定及びその評価をし、その後の活動計画を立てる。	3	50
25	杉田de健康 はつらつ塾	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防事業(普及啓発) 高齢者を対象とした介護予防講座。継続的且つ自主的な介護予防活動に繋げることを目的とする。	5：地域		5月～7月 全4回6講座。社会参加・認知症予防・ロコモティブシンドローム予防・口腔機能向上・栄養改善の講座。プラス自主目標の設定及びその評価をし、その後の活動計画を立てる。	4	51
26	毎日 げん気！杉田坪呑塾	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防事業 身近な集いの場において、介護予防知識の普及啓発及びその後の地域活動促進を目的とする。	5：地域		住み慣れた地域でいきいき生活するための介護予防連続講座。 令和4年度は杉田坪呑地区対象。 6月～10月(8月休み) 全6回	4	61
27	民生・児童・主任児童委員研修会2022	平成20年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の民生委員・児童委員との情報共有、勉強会	5：地域		杉田地区の民生委員とケアマネジャーが一堂に会し、互いの職務や地域の中での役割を理解し、地域の高齢者を支援する上でよりきめ細かいネットワーク構築を目指す。介護保険の基礎知識、ACPIについての研修を実施予定。5月～6月 全3回 認知症について、専門医をお招きして詳しく学び、疾患を見極めたり、対応の仕方を学ぶ。	3	64
28	認知症基礎講座	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民の勉強会・情報共有	5：地域		認知症について、専門医をお招きして詳しく学び、疾患を見極めたり、対応の仕方を学ぶ。	0	0
29	認知症普及啓発事業	平成18年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民の勉強会・情報共有 地域が一丸となって認知症になっても住み慣れた街で暮らせるように、サポーターを養成していく。	5：地域		認知症サポーター養成講座 年1回	3	243
30	ホットティータイム	平成20年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護者への情報提供等支援	1：高齢者		介護者の情報交換やレスパイトケアを目的とし、地域在住の介護者及び、介護に携わっている方を対象として開催する。介護者同士の情報交換や、施設見学、介護・医療情報の提供等も行う。 通年 全12回 月1回 第2火曜日 午後 杉田地区内の元気づくりステーション等のメンバーが集まり、交流や情報交換を行う。 年1回。	11	43
31	介護予防活動グループ交流会 杉田和ら笑の会	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の担い手発掘、情報共有を通じて活動への意識をより高め合う。	1：高齢者		講師による講座やグループワークを通して、地域における介護予防活動の人材育成と活動促進を目指す。	1	7
32	介護予防サポーター養成講座	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防に携わるリーダー育成や担い手の創出	5：地域		講師による講座やグループワークを通して、地域における介護予防活動の人材育成と活動促進を目指す。	1	18
33	もしもの話をしよう	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ACPの普及啓発	5：地域		横浜市制作ACP短編ドラマ視聴、及びもしもナカドを用いた地域一般向けのACP講座を開催。 年1回	1	15
34	福祉用具貸出し	平成8年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民支援	5：地域		車いす、はまちゃん体操DVD、スクエアステップマット等の貸出し。	58	58

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
35	ひざの話	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民に膝痛の対処方法と、悪化させないための取り組みを情報提供。	5：地域		地域の医師による、膝や腰など関節に不安を抱える住民向け講座。痛みと上手に付き合う方法を学ぶ。年1回。	1	23
36	ブララ健康イベント	平成29年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	ケアプラザの活動周知、地域の介護予防の啓発、健康づくりの応援。	5：地域		介護予防や認知症予防など、ケアプラザの活動をアピールする。 年1回 日曜日	0	0
37	すぎたからつな5	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザの活動周知	5：地域		介護予防や認知症など、ケアプラザの活動をアピールする。 年1回 土曜日	0	0
38	スマホステップアップ講座	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍での孤立化予防、シニア世代へのICT活用、および防災に関する普及啓発。	1：高齢者		屏風ヶ浦地域ケアプラザ、ソフトバンク等と協力し、高齢者のスマホ活用利用促進を図る講座の実施。 また、併せて、防災の普及啓発のため、横浜市避難ナビアプリの使い方指導。 年1回。	0	0
39	Yワイサロン	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	コミュニティスペースYワイひろばを使用し、空き家の活用と高齢者の居場所づくり、仲間づくり、多世代交流。	5：地域		介護予防、生活支援の講座を主としたサロン活動。 年2回	0	0
40	杉田の梅を楽しむ散策会	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	男性の居場所づくり、参加者同士の交流・仲間づくりを目的とした健康ウォーキング。	1：高齢者		杉田の名所等を回る健康ウォーキング講座。	1	11
41	つながる杉田 ～みんなで花火！～	令和4年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	杉田地区内の施設間連携により、関係構築を図る。 それぞれの施設の機能・強みを生かし、地域の方を幅広く対象としたイベントの実施。	5：地域		地域住民、近隣施設、保育園、小中学校に声かけし、1枚1枚色を塗った「花火のカケラ」を合わせて大きな花火を作成、杉田劇場で展示。	3	56
42	新杉田地域ケアプラザ 団体Ⅱボランティア会（仮称）	令和4年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	コロナ禍で福祉保健活動が停滞している団体Ⅱを担い手としてボランティア活動につなげる。	5：地域		感染対策を講じた上で、デイサービス等のボランティア（必要物品の作製など）の会、清掃活動イベント等を開催する。 ※2021年度分の福祉保健活動報告書とともに提出される。2022年度活動計画書をもとに内容を検討。 年2回程度	0	0
43	食欲の秋！ババとつくろう土曜日ランチ	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	父親と子どもでの外出・イベント参加機会、および母親のリフレッシュ時間創出。 自宅でも、父親と子どもが一緒に料理をするきっかけづくりを図る。	4：子ども・青少年	3	「ハン料理講習会事業」の機会を活用させていただき、小学生と父親が気軽に一緒に取り組める料理教室の実施。年1回実施	1	8
44	富岡の桜を楽しむウォーキング会	令和4年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	高齢者の居場所づくり、外出機会の創出。 参加者同士の交流・仲間づくりを目的とした健康ウォーキング。	1：高齢者		杉田近隣の金沢区富岡地区の名所史跡をめぐる地域の歴史を学びながらの健康ウォーキングの実施	1	14
45	磯子まちの広報部	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	これまで関わる機会の少なかった世代である学生と一緒に活動することで、若い世代にケアプラザや地域を知ってもらうきっかけとする。	5：地域		学生ライターが磯子区の魅力について取材をし、発信を行う。 （R4年度取材先：磯子区内の地域ケアプラザ）	6	39
46	杉ポッチャ	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	あらたな介護予防活動の創生と、地域におけるその活動のサポーター育成。	1：高齢者		ポッチャ体験全5回（10月、11月、12月、1月、3月実施）。ルールと実技を学びながら、参加者同志の交流を図る。	3	32
47	ゆるさんぽ	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	やや軽めの身体活動で、既存グループに参加できない高齢者の外出・交流機会をつくり、閉じこもり・フレイル予防に繋げる。	1：高齢者		全2回（1月、3月）実施。「無理をしない、欲張らない」をコンセプトに、5000～8000歩を目安にした散歩コースの企画から参加者といひ、より能動的な参加を促進する。	2	8